

▼アビガン錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 ファビピラビル Favipiravir 【分類】 抗インフルエンザウイルス薬 [RNAポリメラーゼ阻害剤]

【単位】 ▼200mg/錠

【常用量】 ■1日目：1回1600mgを1日2回■2～5日目：1回600mgを1日2回 [合計5日間]

SFTS治療に、初日1800mgを1日2回、その後800mgを1日2回 [合計7～14日間]

(Suemori K, et al: PLoS Negl Trop Dis 2021 PMID: 33617533)

【用法】 1日2回

【透析患者への投与方法】 代謝物による毒性がなければ常用量 (5)

推奨用量不明 (Roberto P, et al: Intern Emerg Med 2020 PMID: 32986137)

初日1800mg×2、以後800mg×2/日で治療したが、(HD除去性があるために)9日間投与後の血中濃度はSARS-CoV-2へのEC50である9.7 μg/mL以下であった (Hirai D, et al: Am J Kidney Dis 2021 PMID: 33011311)

初日1800mg×2、以後800mg×2/日にて治療を行ったHD症例 (Koshi E, et al: CEN Case Rep 2021 PMID: 32940880)

【CRRT】 健康人に比べて血中濃度が上昇しないが、CVVHFによるクリアランスは無視できる (症例) (Favie LM, et al: Antivir Ther 2018 PMID: 29185991)

【保存期CKD患者への投与方法】 代謝物による毒性がなければ常用量 (5)

推奨用量不明 (Roberto P, et al: Intern Emerg Med 2020 PMID: 32986137)

【特徴】 新型インフルエンザ対策の国家備蓄用でパンデミックまで一般流通させない。RNAポリメラーゼを阻害する。

【主な副作用・毒性】 肝機能障害、血球減少、消化器症状、発疹、血清尿酸値上昇 (尿管における尿酸の再吸収促進)

主な副作用は、下痢、尿酸上昇、肝機能検査値異常、好中球減少 (Du YX, et al: Clin Pharmacol Ther 2020 PMID: 32246834)

【安全性に関する情報】 催奇形性あり。精液移行する (1) 腎OAT阻害、URATに作用して尿酸の排泄を抑制して高尿酸血症に関与 (Mishima E, et al: Tohoku J Exp Med 2020 PMID: 32536670) 高尿酸血症は可逆的でフェブキソスタットは有効 (植田徹, 他: 第31回日本医療薬学会年会 2021)

【F】

【tmax】

【代謝】 代謝にCYPは関与せず、主にアルデヒドオキシダーゼ、一部キサンチンオキシダーゼ (XO) により代謝 (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率0.8%、主に水酸化体として53%が尿中に回収 [po, 48hr まで] (1)

【t1/2】 5hr (1)

【蛋白結合率】 54% (1)

【Vd】 16.73L/man (1)

【MW】 157.10

【透析性】 除去されると思われる (5)

【薬物動態】 血中濃度は病態により変化する可能性があり、適正量についての検討を要する (Madelain V, et al: PLoS Negl Trop Dis 2017 PMID: 28231247)

PKのレビュー (Du YX, et al: Clin Pharmacol Ther 2020 PMID: 32246834)

【O/W係数】

【相互作用】 CYP2C8を阻害 (1) テオフィリン併用で血中濃度上昇の可能性 (1)

【主な臨床報告】 エボラ出血熱ウイルスへの有効性示唆 (Guedj J, et al: PLoS Med 2018 PMID: 29584730)

★COVID-19への使用 [検証時：その後有用性証明されず]

1日目：1回1800mg1日2回、2日目以降：1回800mg、1日2回 [最長14日] (2020 アビガン治療)

1日目：1回1600mg1日2回、2～7 (10) 日目：1回600mg1日2回 (Turk J Med Sci. 2020 Apr 21;50(SI-1):611-619. PMID: 32293834)

【備考】 簡易懸濁可。

【更新日】 20241012

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。